



3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組の内容			縮減額(百万円)		
	二次製品による護岸工の施工	現場打コンクリート施工と二次製品を経済比較し、安価な二次製品を採用した。			36		
<b>V 評価</b>							
1. 必要性	●海岸の侵食が進行しており、農地等に被害が及ぶ危険性が生じたままであるため、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題						
	●水質汚濁の防止のため、護岸前面堆積土砂掘削埋め戻しは満潮時を避ける等水質環境に配慮した施工を行う。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向						
●事業着手以降、留萌地域総合開発期成会を通じて整備促進要望が行われている。							
(3) その他の課題							
●特になし							
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望どおりの予算を配当する必要がある。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度(2023年度)の完成を目指して事業を継続する。						
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
事業期間変更の有無		有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有
<b>VI 備考</b>							
1. 評価履歴	事前評価：該当なし 再評価：該当なし						
2. その他の取組事項							

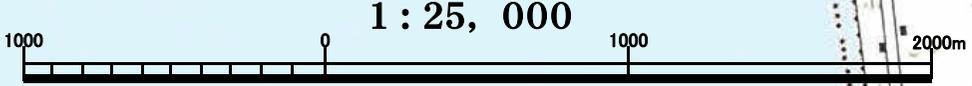
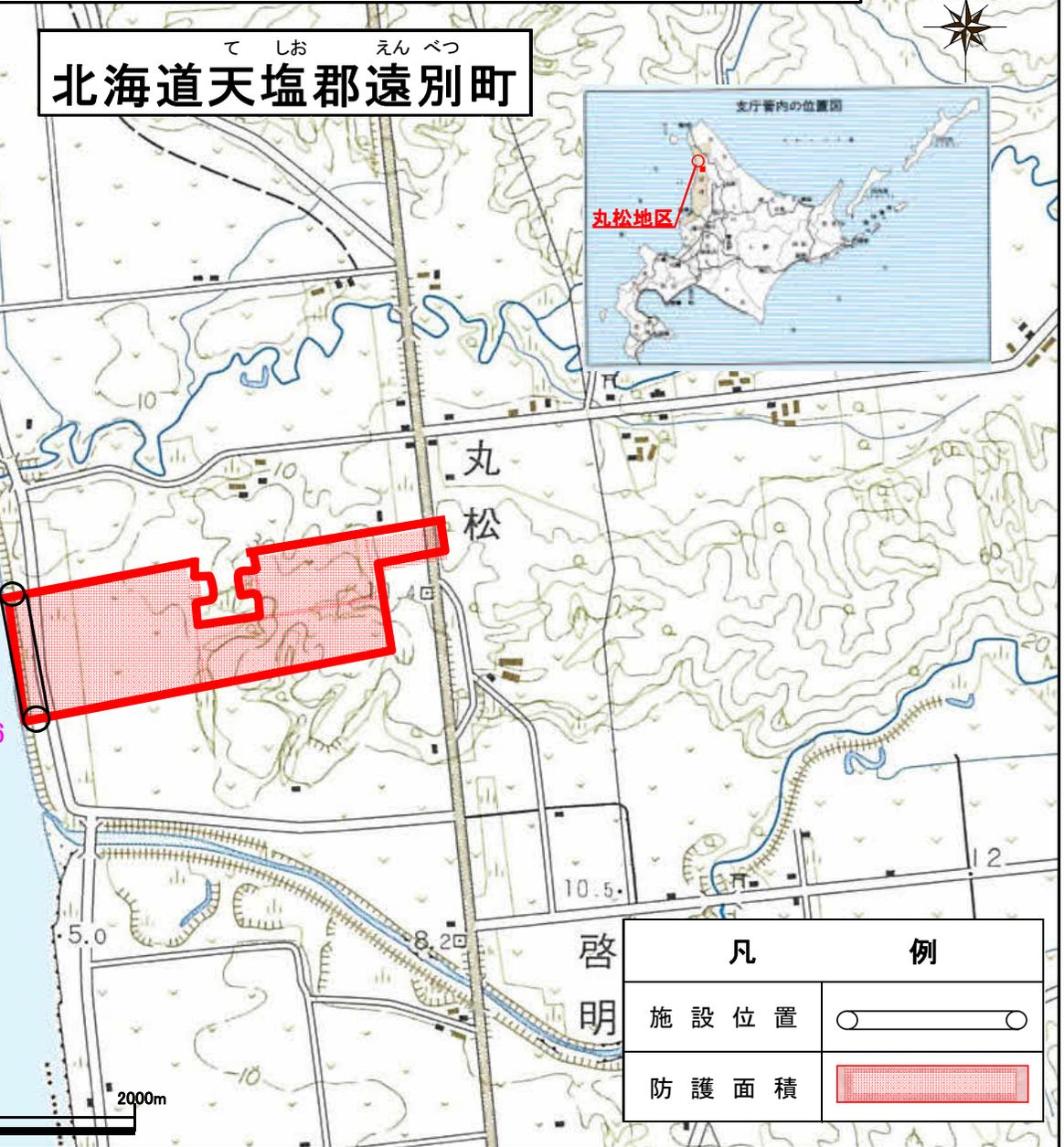
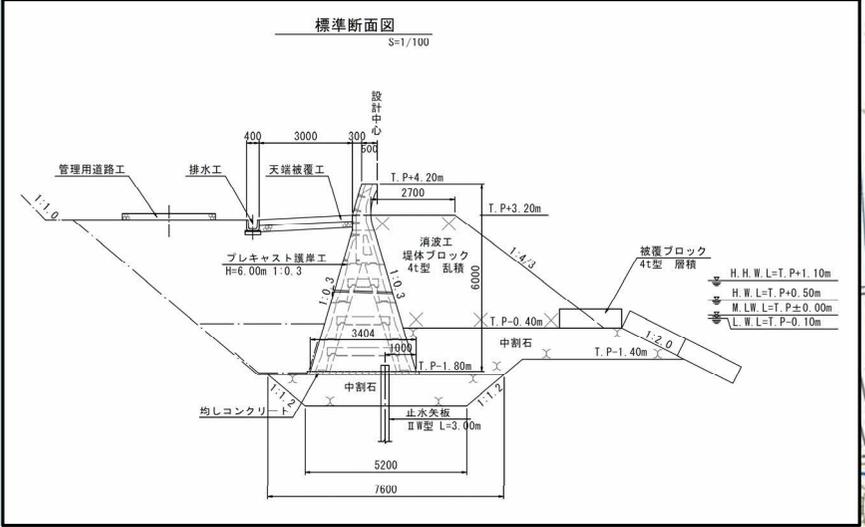
**補足資料**

<b>VII 事業計画変更</b>						(単位：百万円)					
事業経過	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H28(2016)	H28(2016)		H32(2020)		900	405			
	変更①	H28(2016)	H28(2016)	H30(2018)	H34(2022)		1,060	477			
	変更②			R1(2019)	R4(2022)		1,146	516			
	変更③			R3(2021)	R5(2023)		1,146	516	210	810	71%
	変更④										
	変更⑤										
	変更⑥										
	変更⑦										
	変更⑧										
	変更⑨										
変更⑩											
<b>変更理由・内容</b> 変更①：事業量・事業費の変更 ・現地調査の結果、終点部の侵食が拡大しており、このまま放置すると本地区において築造される護岸施設の側面からの横波等の影響による護岸背面の侵食による施設の倒壊やさらなる背後農地の侵食等が懸念されることから、安定した天然護岸まで、本地区の整備延長を追加したことに伴う事業量・事業費の増  事業期間の延伸 ・平成29年度より整備を実施する予定としていたが、平成29年に本地区が位置する日本海沿岸部において新たに津波地震動の基準が設定されることが判明し、護岸天端高・施設規模等についての再検証及び修正設計が必要となったこと、また施工延長が伸びたことによる、完了予定年度の2年延伸  変更②：事業費の変更 ・既存の消波ブロックを一部消波工として再利用する予定であったが、利用予定であったブロックでは必要重量に達しないことが判明したため、新材へと変更することに伴う事業費の増  変更③：事業期間の延伸 ・令和3年11月に地区近傍で海岸の侵食災害が起きるほどの波浪が発生したことから、施工業者への安全を配慮して工事工期を波浪の影響が懸念される冬期にかからず完成させる方針に変更したことによる完了予定年度の1年延伸。											

# 道営農地防災事業費 海岸保全施設整備事業(侵食対策)丸松地区

まるまつ

## 北海道天塩郡遠別町



凡	例
施設位置	
防護面積	